

Aコース【基礎編】

「モジュールを共通の思想として製品開発プロセスを革新する 知識体系」

～企業戦略としてモジュラーデザインを実践するための基礎知識～

【対象】

経営企画、事業部門、設計部門、生産技術部門、製造部門、
調達・アフターサービス部門の管理者および実務者

【講師】

一般社団法人モジュラーマネジメント研究会 理事
(株)アームズ・コンサルティング 代表取締役 鳥毛敬三

【Aコースのねらい】

研究会では所属する会員の皆様に対して、毎年アンケートを実施しております。
多くの企業の方々が、モジュラーデザインの良さは分かるが実践が難しいと感じておられます。その原因を上げてみると；

1. 経営層に理解を求めて承認を得るのが難しい。
2. 進め方が良く分からない。
3. 手法の意味と関連が理解できない。
4. 効果が予測できない

等々のご意見が多くみられます。

研究会では日野三十四氏の著作である「実践モジュラーデザイン 改訂版」や「実践エンジニアリング・チーン・マネジメント」を中心に手法を紹介してきました。しかし、これらの著作を読むだけでは、実践が困難だとのご意見を基に、昨年からアカデミーを開催してまいりました。

昨年のアカデミーで得られた受講者の声に加えて、この1年間特に注力してきたモジュール化設計技術を中心に、その前提となるモジュール・モジュール化やモノづくりプロセス革新としてのモジュラーデザイン、そして活動を支える組織能力について体系的に実践の基礎となる知識をご提供します。

コース	スケジュール	タイトル	担当
A1	2026年1月27日（火） 10：00～17:00	モジュール化をはじめる基礎知識 ～モジュール化による有効性と前提条件を理解する～	鳥毛
A2	2026年2月24日（火） 10：00～17:00	モジュール化設計を習得する ～モジュールの選定と製品革新の手法を理解する～	鳥毛
A3	2026年3月19日（木） 10：00～17:00	モジュラーデザインを推進する ～企業戦略としての実現を可能にする能力を理解する～	鳥毛

A 1「モジュール化をはじめる基礎知識」

-モジュール化による有効性と前提条件を理解する-

日時：2026年1月27日(火) 10:00～17:00

会場：品川 T K P 品川カンファレンスセンター

講師：(株)アームズ・コンサルティング 代表取締役 鳥毛敬三

はじめに MD活動の全体構成

—MD活動の各要素を概観する—

- ・モジュール・モジュール化・モジュラーデザインの定義
- ・モジュラーデザイン実践活動の構造
- ・企業における位置づけ

第1章 モジュール化がもたらすもの

—モジュール化の必要性と可能性を理解する—

- 1-1. モジュールとモジュール化
- 1-2. モジュール化の必要性
- 1-3. モジュール化で可能になること

第2章 モジュール化を推進する

—モジュール化する対象を選択する方法を理解する—

- 2-1. アーキテクチャーを検討する
- 2-2. 対象製品を選択する
- 2-3. 製品戦略を立案する

第3章 製品開発プロセスの整備

—モジュール化を支える製品開発プロセスを整備する—

- 3-1. システムズエンジニアリング
- 3-2. 設計プロセス標準化
- 3-3. 設計情報標準化
- 3-4. 設計手順書

A 2「モジュール化設計を習得する」

- モジュールの選定と製品革新の手法を理解する -

日時：2026年2月24日(火) 10:00～17:00

会場：品川 T K P 品川カンファレンスセンター

講師：(株)アームズ・コンサルティング 代表取締役 鳥毛敬三

はじめに MD活動の全体構成

—MD 活動の各要素を概観する—

- ・モジュール・モジュール化・モジュラーデザインの定義
- ・モジュラーデザイン実践活動の構造
- ・企業における位置づけ

第3章 製品開発プロセスの整備（要点のおさらい）

—モジュール化を支える製品開発プロセスを整備する—

- 3-1. システムズエンジニアリング
- 3-2. 設計プロセス標準化
- 3-3. 設計情報標準化
- 3-4. 設計手順書

第4章 モジュール化設計

—プロセスに応じたモジュール化手順を理解する—

- 4-1. アーキテクチャーを確認する
- 4-2. モジュール化の手法
- 4-3. 製品革新

A 3「モジュラーデザインを推進する」

-企業戦略としての実現を可能にする能力を獲得する-

日時：2026年3月19日(木) 10:00～17:00

会場：品川 T K P 品川カンファレンスセンター

講師：(株)アームズ・コンサルティング 代表取締役 鳥毛敬三

はじめに MD活動の全体構成

—MD活動の各要素を概観する—

- ・モジュール・モジュール化・モジュラーデザインの定義
- ・モジュラーデザイン実践活動の構造
- ・企業における位置づけ

第4章 モジュール化設計（要点のおさらい）

—プロセスに応じたモジュール化手順を理解する—

- 4-1. アーキテクチャーを確認する
- 4-2. モジュール化の手法
- 4-3. 製品革新

第5章 モジュラーデザイン

—バリューチェーンで収益を生み出す仕組みを作る—

- 5-1. バリューチェーンを確認
- 5-2. ビジネスマodelの変革
- 5-3. 活動目標の設定

第6章 実践の組織能力

—モジュラーデザインを実践する組織能力を高める—

- 6-1. 業務標準化力
- 6-2. プロジェクト推進力
- 6-3. 論理的設計力
- 6-4. 各種技法の適用力